

## ◆ 令和2年度学会賞 ◆

**太田 憲雄 氏** (理博)  
筑波大学・シニアプロフェッサー



### 受賞題目 : 光磁気記録の基礎物性および高密度記録再生技術に関する研究

太田憲雄氏は、磁気バブル立ち上げ当初から磁気応用デバイスの研究に携わり、さらに光磁気記録の基礎から応用に至る研究に長年従事した。磁気バブルでは、ガーネットの物性や異方性制御などの研究から磁区挙動の応用研究としてデバイス実現に貢献した。光磁気記録では、希土類遷移金属合金の研究だけでなく、多値記録やパルス磁界変調記録、磁気バブルでの原理を光磁気記録に応用した磁区拡大再生という優れた成果を実現した。このように、光磁気ディスクの製品化では中心的役割を果たし、数多くのブレイクスルー技術を生み出し、磁気分野の産業の発展に大きく寄与されるなど、当該分野の牽引役としての同氏の業績は極めて大きい。さらに、本学会の企画理事や副会長を歴任し、学会運営に尽力するなど、本学会の発展にも大きく貢献されており、その功績は高く評価される。

### 略 歴

1970年	東北大学大学院・理学研究科 入学 (物理)
1975年	同上・博士課程 修了 理学博士
同年	(株)日立製作所・中央研究所 入社 (磁気バブルメモリ・光磁気記録)
1990年	日立マクセル (株) 転属 (情報ストレージ)
2003年	同社 執行役・開発本部長 (この間 1991年および2005年 東北大学金属材料研究所・客員教授兼任)
2010年	筑波大学数理物質科学研究科・客員教授
2014年	同大学・シニアプロフェッサー、現在にいたる

#### 〈受賞歴〉

1998年	日本応用磁気学会論文賞
1990～	日本金属学会論文賞・技術開発賞、発明協会各賞、他
2000年	光産業協会 桜井健次郎氏賞
2008年	日本磁気学会業績賞

#### 〈本会役員歴〉

1998～2001年度	企画理事
2005～2006年度	副会長
2018年	名誉会員、ライフフェロー